

現代人の3人に1人は自分の食生活に疑問、
40代の親の4割以上が「子どもの食事のマナーに自信がない」

～ 全国の男女820人に「食育」についての意識を調査 ～

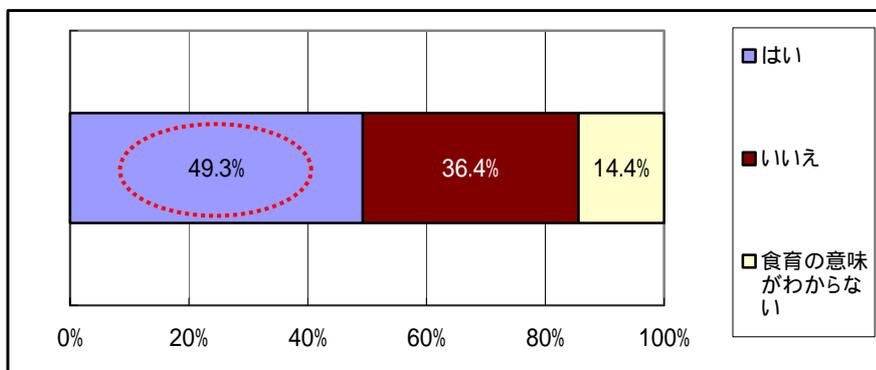
湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、取締役社長:神崎 茂治、資本金:201億円、東ノ大証一部上場)は、全国の男女820人を対象に、「食育」をキーワードに、食事の実態について調査しました(巻末に概要を記載)。

「食育」 - 若い世代ほど「コミュニケーション」面を重視。
40代の親の4割以上が「子どもの食事のマナーに自信がない」と回答。

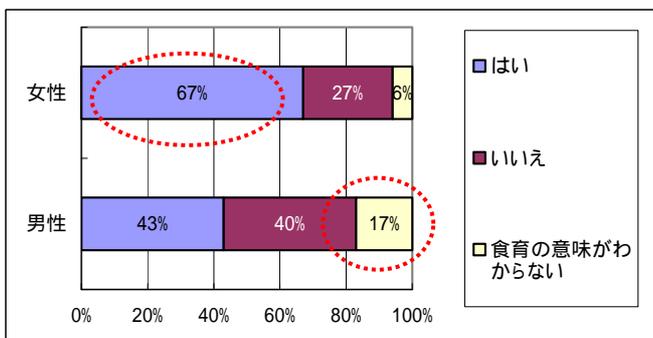
最近注目を集めている「食」に関するキーワード、「食育」。言葉自体が生まれたのは明治時代とされていますが、2005年6月に「食育基本法」が制定されてから、様々な場面で目にすることが多くなりました。定義も、素材へのこだわりからマナーの教育まで幅広いものとなっています。

この「食育」について、「普段意識するか」とたずねたところ、全体の5割が「はい」と回答。女性では、実に67%が「はい」と回答しました。いっぽう、男性だけでみると、17%が「言葉の意味がわからない」と回答しています。また、年代でみると、30代の6割が「はい」と回答。子育て世代の意識の高さが目立ちました。

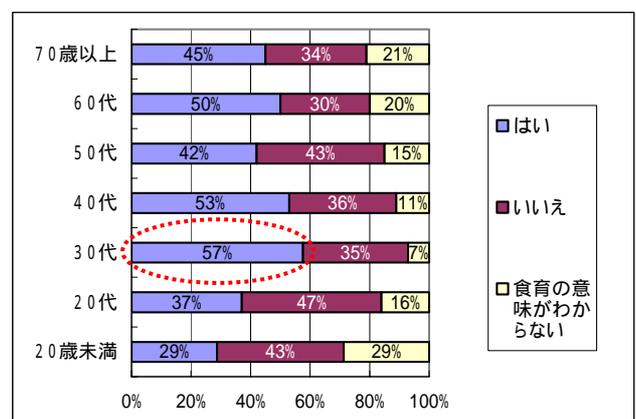
あなたは「食育」という言葉を普段意識しますか。
(n=820)



あなたは「食育」という言葉を普段意識しますか。 / 性別 (n=820)

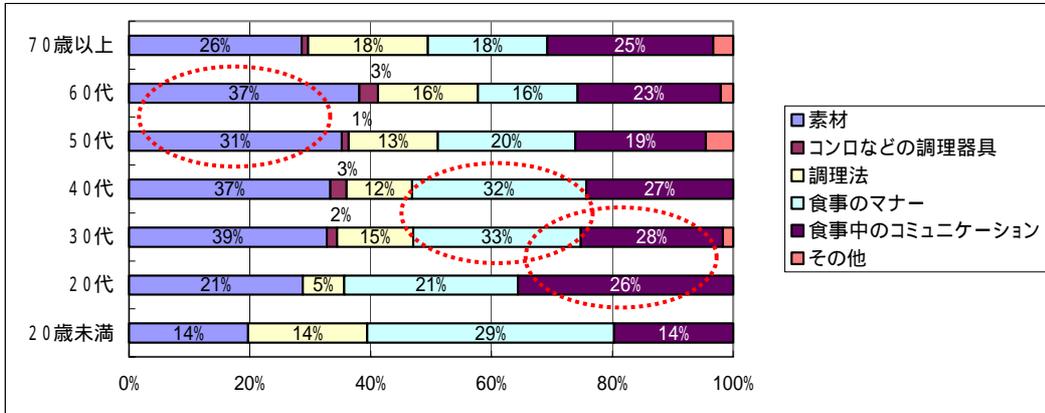


あなたは「食育」という言葉を普段意識しますか。 / 年代 (n=820)



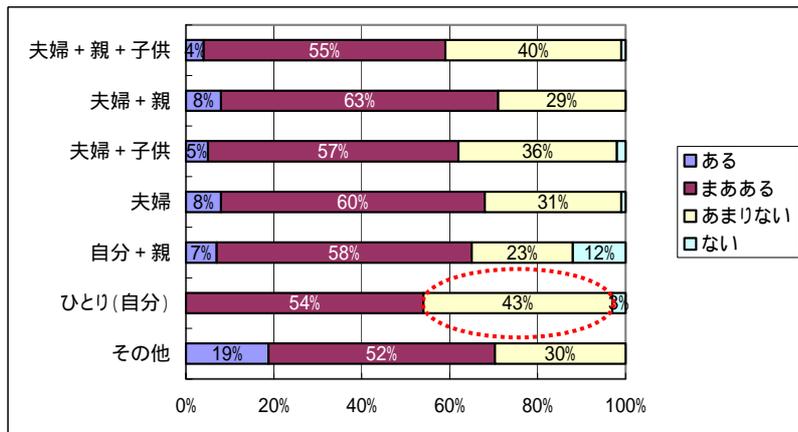
では、どんなことを意識しているのかというと、50代・60代は「素材」を重視する傾向が強く、30代・40代は「食事のマナー」、そして20代・30代の若い世代では「食事中的コミュニケーション」という傾向が強くなります。それぞれの年代の環境により、「食育」について注目するポイントがはっきりと分かれました。

どんなことを意識していますか。 / 年代 (n=820)

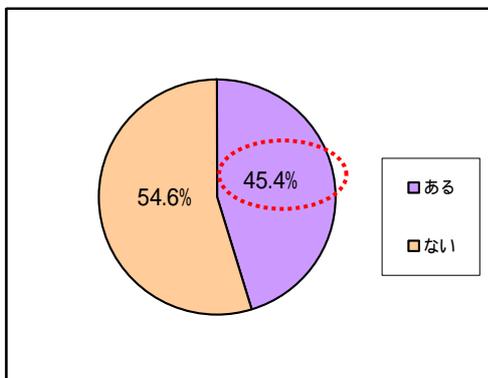


食事のマナーについての「自信」については、ひとり暮らしの人の半数近くが「あまりない」「ない」と回答しました。実際に、「食事のマナーで注意されたことがある」人は全体の45.4%。注意されたことの上位は「食べる姿勢」、「食べ方」、「箸の持ち方」でした。

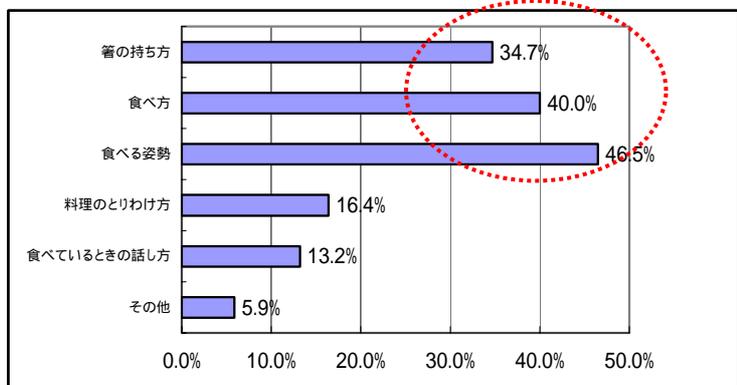
あなたは食事のマナーに自信がありますか。 / 家族構成 (n=820)



あなたは食事のマナーで注意されたことはありますか。 (n=820)

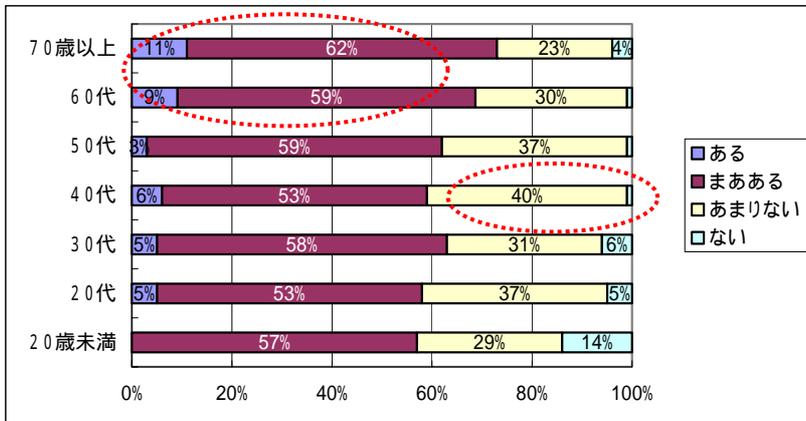


どんなことを注意されましたか。 (複数回答、n=372)



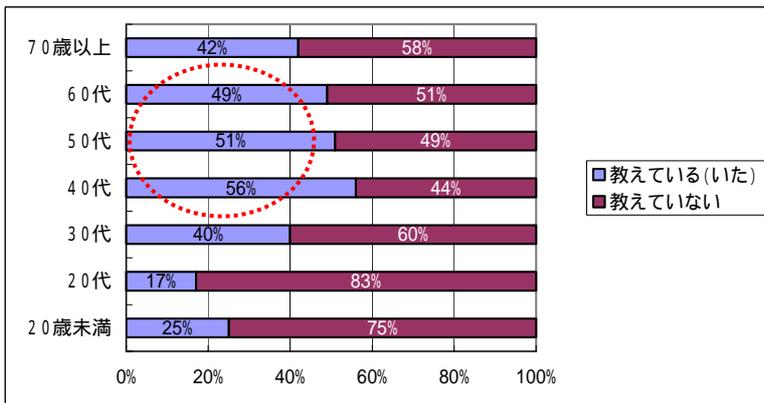
また、「自分の子どもの食事のマナー」に自信があるかどうかたずねたところ、40代の4割が「あまりない」「ない」と回答。子育て世代の迷いを感じ取れる回答でした。40代の親世代にあたる60代、70代以上の7割が「ある」「まあある」と回答しているのと対照的です。

あなたは自分の子どもの食事のマナーに自信はありますか。 / 年代 (n=820)



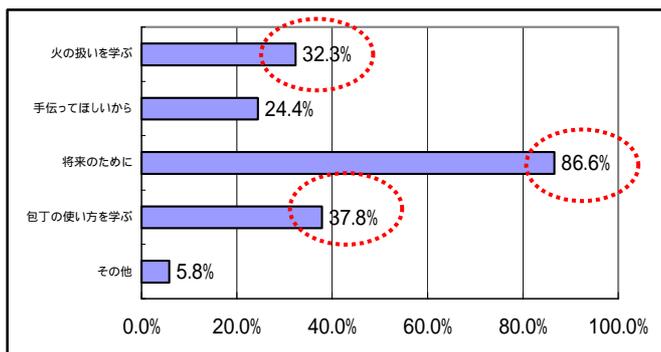
食事のマナーと同じように、近年「食育」の一環として注目されているのが「子どもの料理」です。子どもに料理を教えているか、もしくは子どもが小さかったときに教えていたかどうか調べたところ、40代から60代は5~6割の家庭が「教えている、教えていた」と回答しています。まだ子どもが小さいと思われる30代になると4割に低下します。

あなたのご家庭では子供に料理を教えていますか。(教えていましたか。) / 年代 (n=593)

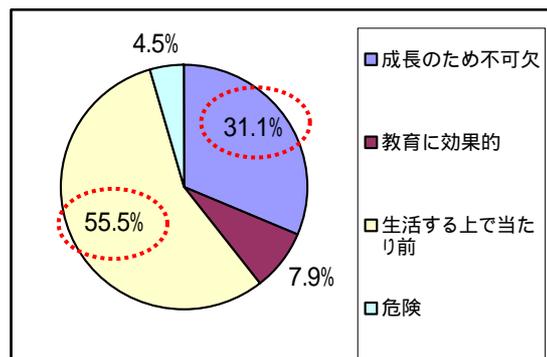


では「料理を教える目的」は何か、とたずねたところ、「将来のために」という回答がトップで、「包丁の使い方を学ぶ」、「火の扱いを学ぶ」が続きます。生きていくために必要なこととして、刃物や火との付き合い方を教える親が多いのは、昔も今も変わらない光景のようです。特に「子どもが料理で火を使うこと」については、「生活する上で当たり前のこと」「成長のため不可欠」という意見が圧倒的でした。「危険」という意見はわずか4.5%です。

料理を教える目的は何ですか。(複数回答、n=291)



子どもが料理で火を使うことについてどう思いますか。(n=820)

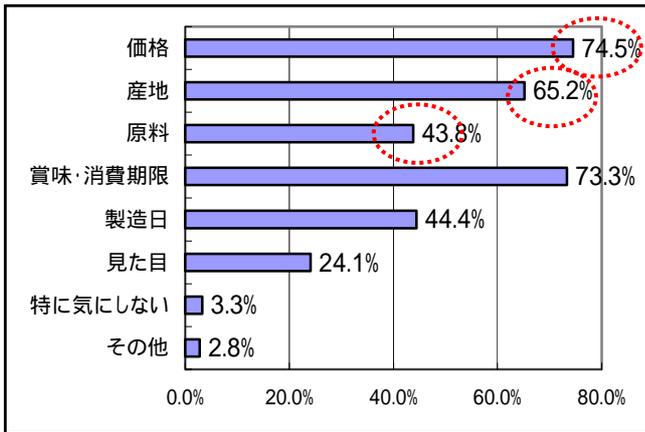


食の安全 - 8割の人が「国産」の食材を選ぶ。

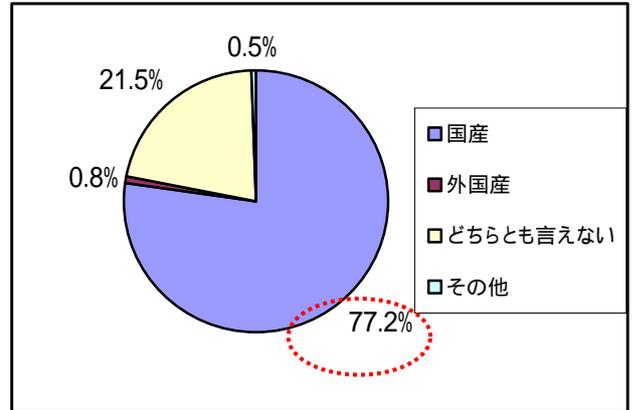
3人に1人が「中食」を利用しているが、「利用しない」派も2割。

ここ数年、「食の安全性」も、食育と関連して社会的な関心となっています。「スーパーなどで食材を購入するときに気にすること」を調べたところ、やはり「価格」がトップでしたが、「産地」「原料」も半数前後の人がチェック項目として挙げました。「特に気にしない」という回答はわずか3.3%でした。また、「食材で国産と外国産がある場合、どちらを購入することが多いか」という問いには、77.2%と、8割の人が「国産」と回答。「外国産」と答えた人はわずか0.8%でした。ただ、「どちらともいえない」と回答した人も21.5%存在し、様々な情報が錯綜する現在に少し戸惑っている様子も垣間見えます。

あなたが、スーパー等で食材を購入するときに気にすることは何ですか。(複数回答、n=820)

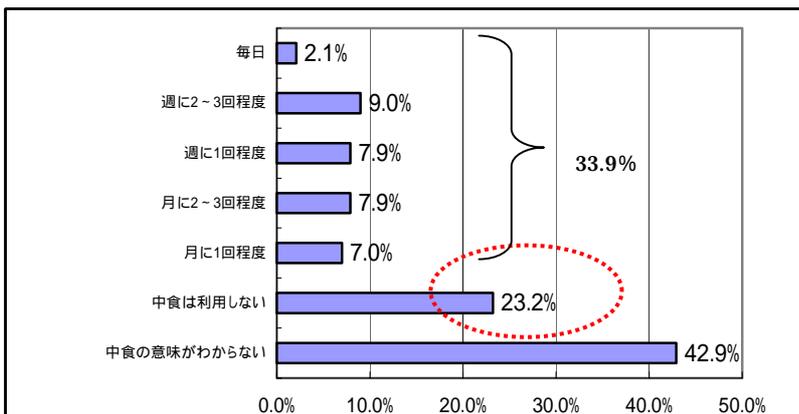


食材で国産と外国産がある場合、どちらを購入することが多いですか。(n=820)

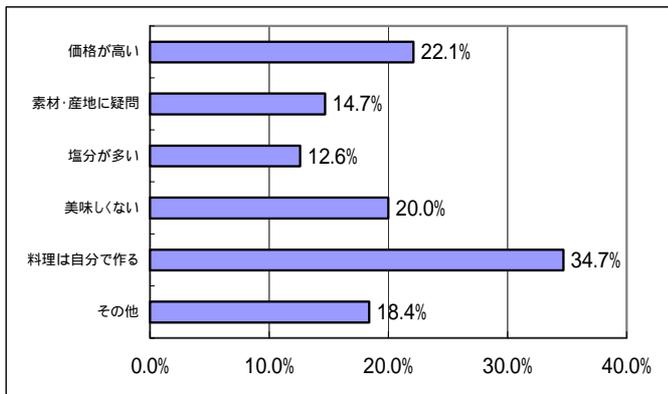


近年普及してきた、スーパーやデパートで調理済みの惣菜を買い食事の一部とするスタイル「中食^{なかしょく}」ですが、利用頻度を調べたところ、「利用する」という人は3人に1人。身近なスタイルとして定着しているようです。ただ、「中食は利用しない」と回答した人も意外に多く、全体の23.2%でした。その理由としては、「料理は自分で作る」という意見がトップで、「価格が高い」「美味しくない」と続き、「素材・産地の安全性に疑問がある」という回答が続きます。いっぽう、中食を利用する人の理由は「手軽だから」「時間が無いから」というもので、忙しさを補うものとして活用しているようです。

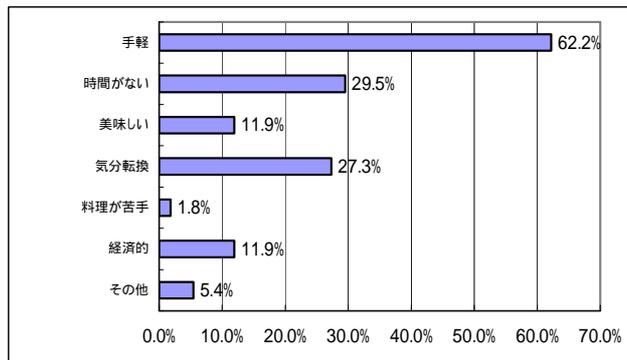
あなたが中食を利用する頻度はどれくらいですか。(n=820)



中食を利用しない理由について、あてはまるものを選んでください。
(複数回答、n=190)



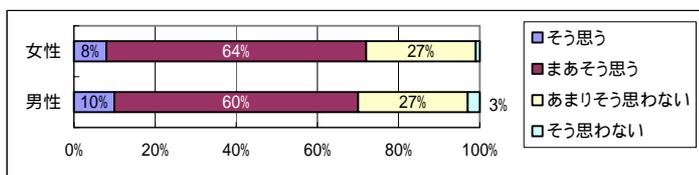
中食を利用する理由について、あてはまるものを選んでください。
(複数回答、n=278)



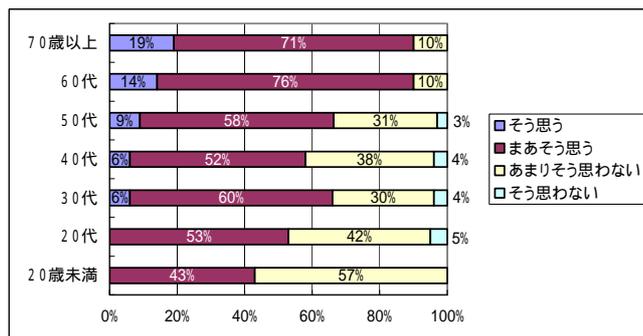
普段の食生活 - 3人に1人が、自分の食生活について「正しいと思わない」

最後に、「普段の食生活」の実態についても調べました。食事をとる時間帯、食事を一緒にとる人、外食の回数など総合的な食事のスタイルについて、「自分の今の食生活は正しいと思いますか」とたずねたところ、女性・男性ともに、3人に1人が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答しました。世代で見ると、子育て世代である30代から40代の3割以上が「あまりそう思わない」「そう思わない」という思いを抱えていることがわかりました。

自分の今の食生活は正しいと思いますか。 / 性別 (n=820)

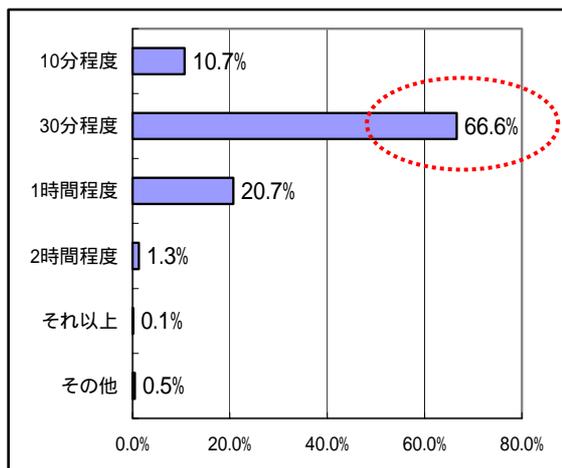


自分の今の食生活は正しいと思いますか。 / 年代 (n=820)

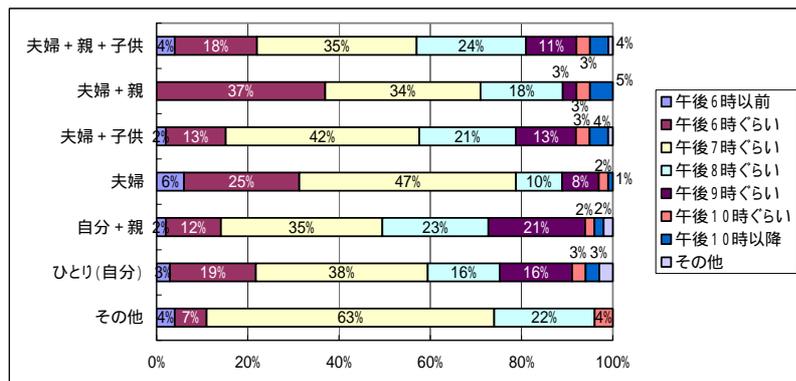


男女共に3人に1人が正しいと思えていない「食生活」。では、皆どのようなリズムで営んでいるのでしょうか。「夕食」について、「食べ始めてから終わるまで」の時間は全体的に30分程度、「夕食をとりはじめる時間」は家族構成に関わらず午後7時くらいが主流でした。また、ファミリー層の中でも2世代のいわゆる「核家族」は「通常ひとりで夕食をとる」率が高いことがわかりました。

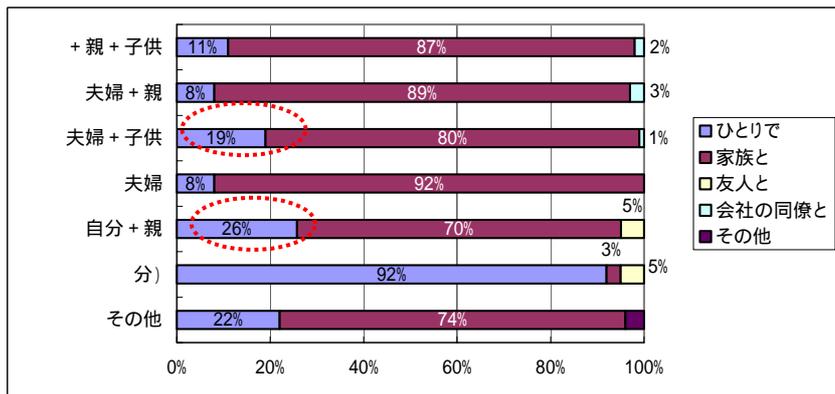
あなたは通常、夕食は食べ始めてから終わるまで何分くらいかかりますか。
(n=820)



あなたは通常、夕食をとるのは何時くらいからですか。 / 家族構成 (n=820)

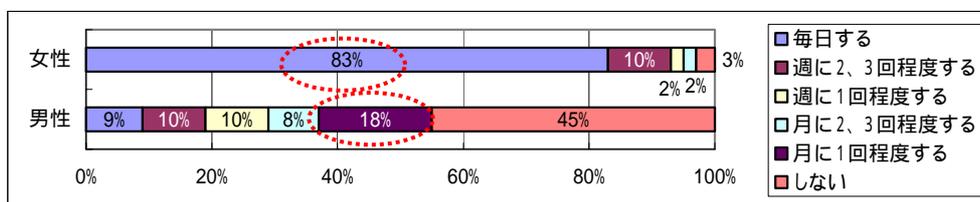


あなたは通常、夕食はだれと食べますか。 / 家族構成 (n=820)

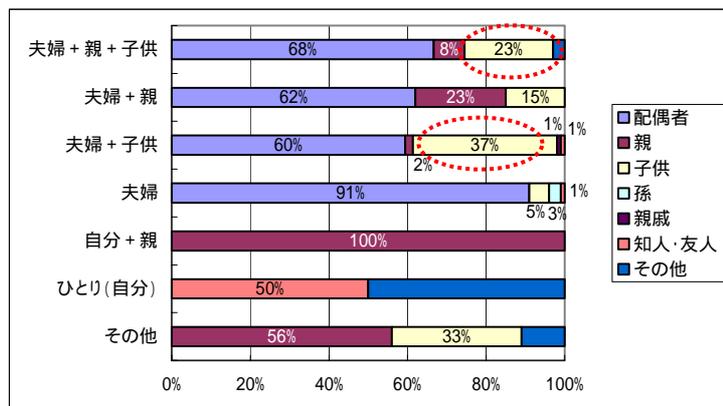


また、近年女性の料理離れなどが話題になることがありますが、「自分で料理をする」女性は実に8割。男性は半数近くが「しない」と回答したものの、月に1回程度は台所に立つ男性も2割います。「誰と一緒に作るが多いか」たずねたところ、子どものいる家庭では2割から4割が、親子で料理を作っていることがわかりました。

あなたは家で料理をしますか。 / 性別 (n=820)

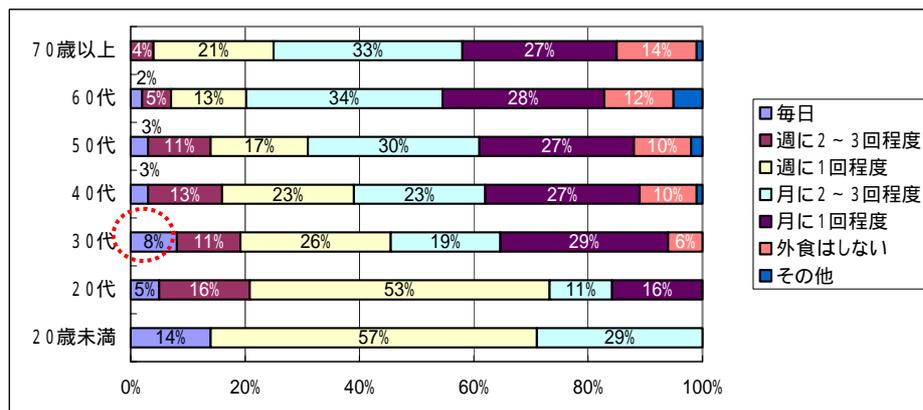


誰と一緒に料理を作ることが多いです。 / 家族構成 (n=286)

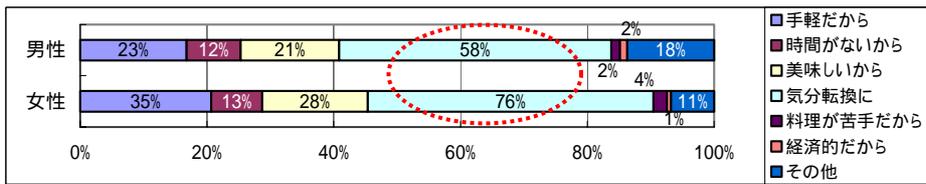


以上で、家での食事を見てきましたが、外食に目を移すと、30代の1割は「毎日」外食していることがわかりました。ただ、全体的には月に2~3回以下が主のようです。外食をする理由としては、男女ともに「気分転換」がトップで、年代でみると20代・30代は「手軽だから」という回答が続きます。忙しい現代人は、外食が一種のレジャーなのかもしれません。

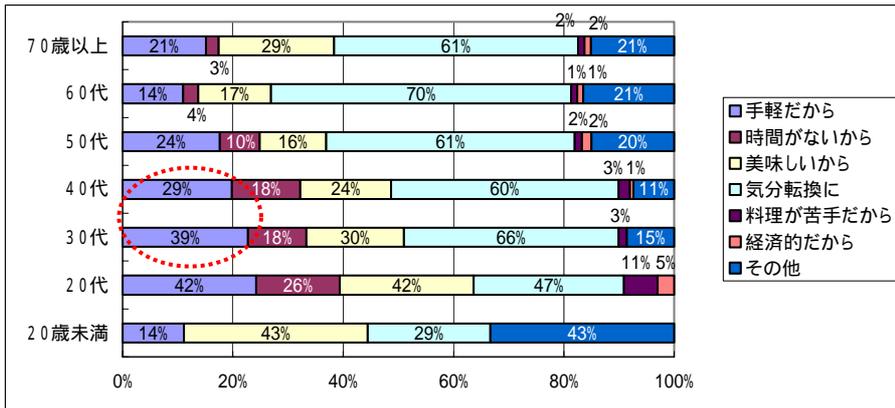
あなたは外食をする頻度はどれぐらいですか。 / 年代 (n=820)



外食をする理由について、あてはまるものを選んでください。 / 性別 (n=723)

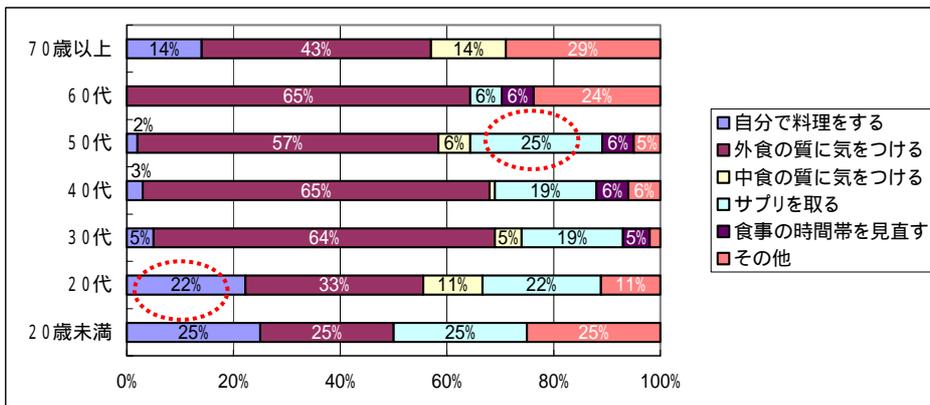


外食をする理由について、あてはまるものを選んでください。 / 年代 (n=723)



年代によっては外食派も多い現代人。最後に、「自分の今の食生活はあまり正しいと思わない・正しいと思わない」と回答した人に、「今後どんなことで自分の食生活を正しくしていきたいか」とたずねたところ、全世代を通して「外食の質に気をつける」と回答した人が多かったのですが、20代では「自分で料理をする」という回答が印象的でした。また、50代は「サプリ」に関心が高いのも特徴的でした。

今後、どんなことで自分の食生活を正しくしていきたいですか。 / 年代 (n=241)



アンケート調査概要

【方 法】Web アンケート

【期 間】2007年8月21日～23日

【対 象】ノーリツインターネットサイト「^{ノーリツスタイル}NORITZSTYLE つかりコムねん」会員（全国の全世代男女）

【サンプル数】820

